

五観中だより

【正門前「校訓」碑】

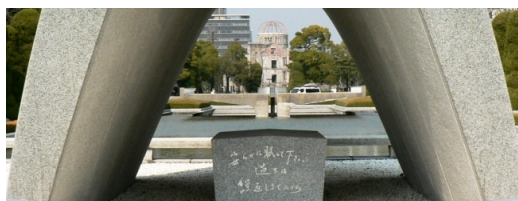
広島市立五日市観音中学校『学校通信』第6号

平成22年8月6日 発行



六十五回目の暑い夏に誓います...「過ちは繰返ませぬから」

平和記念公園の原爆死没者慰霊碑（広島平和都市記念碑）の碑文にある「過ち」は、「戦争」すべてをさします。核兵器への怒りはもちろん、戦争という人類の醜い行為への反省の気持ちも込められています。本日の「あの時＝8時15分」からの1分間の黙祷を、あなたはどのような気持ちで行いましたか。「あの時」から、もう65年の月日を経ました。恐ろしく愚かな戦争を実際に経験された方々の多くは、すでにお亡くなりになり、自分たちの苦い経験を、懸命に我々戦争を知らない世代へ語り伝えようとされる方々の高齢化が進んでいます。あと何年でしょう。私たちが、生の声であのころのことを聴くことができるのは...。その時がやって来る前に、いろいろなことを知り、考え、将来に向け自分たちで平和な世界や社会を築いていく使命が、私たちにあるのではないのでしょうか。



1年生は、秋にフィールドワークで平和学習を行います。さまざまな立場の方に取材をし、被爆の実相を学ぶとともに、戦争の悲惨さと平和の大切さを再認識します。「ヒロシマ」の中学生として自ら考え、主体的に判断し行動していく態度や力をつけていくことをめざします。2年生は社会科の歴史的分野の学習で、たくさんの史実を学習します。数々の戦争について、その原因と結果や影響など正しい知識をしっかりと身につけましょう。3年生は社会科の公民的分野の学習で、日本の平和主義や国際社会と世界平和について、地球市民（人類）の一員として考えます。「平和」は、未来永劫大切に守られるべきものですが、人類にとって永遠の課題であると言えるでしょう。君たちの身のまわりに、「平和」とは言えない実態はないのでしょうか。人の気持ちや体を傷つけたり痛めつけたりするような、卑劣で愚かな言動はないのでしょうか。まずは身近から、だれもが平穩に過ごせる環境を整えましょう。

熱い走り...熱い声援...厚い思い 【8月1日 八幡川リバーマラソンより】

夏休みも5分の2が過ぎ去りました。あと3週間です。家庭学習や体力づくりなど、夏休みに入るときに立てたはずの計画は、実行できていますか。そうでない人は、今日からさっそく立て直しましょう。

ところで、連日の猛暑の中、部活動に励む姿をたくさん見かけますが、熱中症対策など、くれぐれも気をつけてください。区大会突破のうれしいニュースもあります。市総体に向けて、ますます練習に熱が入って来ることでしょう。

先日、区の伝統的地域行事「八幡川リバーマラソン」が行われました。今年で27回を数えるそうです。五観中からは、陸上部や個人的にエントリーした人、PTA役員やおやじの会の方々など多くの方が、涼しげな水しぶきをあげながらも、苦しそうに熱走、激走を見せてくれました。そんな中、リレーの部に登場した陸上部の面々に向かって、熱い声援が飛んでいました。自分たちの地域の子に対する厚い愛情です。ありがたいことです。おかげで彼らは2位入賞を果たし、地域の方々もいっしょになって喜んでくださいました。

